

海外研究申請書

大阪公立大学 数学研究所
文部科学省 共同利用・共同研究拠点
「数学・理論物理の協働・共創による新たな国際的研究・教育拠点」
2026 年度若手研究者派遣プログラム

氏名（和文、英文、フリガナ）： 大阪太郎、Taro Osaka、オオサカタロウ
e-mail アドレス： sn12345n@st.omu.ac.jp
学籍番号（院生の場合のみ）、最寄り駅： DHA21001、大阪市営地下鉄谷町線・中央線 谷町四丁目駅
所属・身分： 大阪公立大学大学院理学研究科数学専攻・博士後期課程 3 年
研究分野：表現論
研究テーマ：非 I 型の可解リー群のユニタリ表現
派遣先での研究計画概要： リー群の表現論は、群が I 型か非 I 型かで様相が一変し、非 I 型のリー群の表現論は未開拓の部分が大きい。本研究では具体的な非 I 型の可解リー群について既約ユニタリ表現を構成する新しい方法を開発し、Auslander-Kostant の軌道の方法との関係について可解リー群の専門家と討議し、セミナー発表する。 関連 URL（派遣先の研究機関、研究集会、受入研究者個人のページなど）： 受入研究者の個人ページ < http://ali-b.tn/ > 指導教員の氏名とその職名（院生の場合のみ）：杉中花子，教授 指導教員のコメント（院生の場合のみ）： 非 I 型のユニタリ表現の構成は重要な仕事と思われるが、専門家からの意見を聞いて、さらに発展することを期待したい。
派遣希望する海外大学・研究機関（部局名 or 研究室名も）： University of Sfax, Department of Mathematics 大学・研究機関住所： Route de Soukra, 3038 Sfax, Tunisia 大学・研究機関最寄り空港 or 最寄り駅： Sfax Station

受入研究者とその職名：

Ali Baklouti、教授

派遣希望日程：2026年10月2日出発 10月11日帰着

フライトプラン（案でよい）：

10月2日 関西国際空港 21:15→羽田空港 22:25

10月3日 羽田空港 1:00→ドーハ空港 6:30

10月3日 ドーハ空港 8:45→チュニス空港 12:35

10月9日 チュニス空港 16:00→ドーハ空港 23:25

10月10日 ドーハ空港 1:50→クアラルンプール空港 14:40

10月10日 クアラルンプール空港 22:15→関西国際空港 5:45（10月11日）

航空賃（概算）： 200,000 円

宿泊費（概算）： 100,000 円

応募者が研究費を持っている場合や派遣先からの援助がある場合は、以下の質問にも答えてください。

応募者の研究費：フェローシップ研究費 300,000 円

その中から今回の旅行で使用する金額の目安：100,000 円

派遣先からの援助：なし

※ 必要に応じて、ページを追加したり、資料を添付してもよい。